

共通

平成22年度毒物劇物取扱者試験問題

【法規】

第1問 次は、毒物及び劇物取締法の条文の一部を抜粋したものです。

文中の(①)～(③)にあてはまる語句として、最も適当なものを下欄から一つずつ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

次に掲げる者は、毒物劇物取扱責任者となることができない。

- 一 (①) 未満の者
- 二 心身の障害により毒物劇物取扱責任者の業務を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるもの
- 三 麻薬、大麻、(②) 又は覚せい剤の中毒者
- 四 毒物若しくは劇物又は(③)に関する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられ、その執行を終り、又は執行を受けることがなくなった日から起算して3年を経過していない者

《下欄》

- | | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| (ア)14歳 | (イ)16歳 | (ウ)18歳 | (エ)20歳 |
| (オ)向精神薬 | (カ)コカイン | (キ)あへん | (ク)シンナー |
| (ケ)医事 | (コ)薬事 | (サ)刑事 | (シ)民事 |

第2問 次は、毒物及び劇物取締法の条文の一部を抜粋したものです。

文中の(①)～(④)にあてはまる語句として、最も適当なものを下欄から一つずつ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

第一条 この法律は、毒物及び劇物について、(①) 上の見地から必要な(②) を行うことを(③) とする。

第二条 この法律で「毒物」とは、別表第一に掲げる物であつて、医薬品及び(④) 以外のものをいう。

《下欄》

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| (ア)保健衛生 | (イ)環境衛生 | (ウ)安全管理 | (エ)労働安全 |
| (オ)指導 | (カ)取締 | (キ)規制 | (ク)助言 |
| (ケ)目標 | (コ)目的 | (サ)信条 | (シ)基本 |
| (ス)特定毒物 | (セ)毒薬 | (ソ)危険物 | (タ)医薬部外品 |

第3問 次の文中の(①)～(④)にあてはまる語句の正しい組合せとして最も適当なものを下欄から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

毒物劇物営業者は、毒物又は劇物の容器及び被包に、「医薬用外」の文字及び毒物については(①)に(②)をもって「毒物」の文字、劇物については(③)に(④)をもって「劇物」の文字を表示しなければならない。

《下欄》

	①	②	③	④
(ア)	赤地	白色	白地	赤色
(イ)	白地	赤色	赤地	白色
(ウ)	黒地	白色	白地	赤色
(エ)	赤地	白色	白地	黒色
(オ)	白地	黒色	黒地	白色

第4問 毒物劇物営業者が、毒物又は劇物を毒物劇物営業者以外の個人に販売するときに、その譲受人から提出を受けなくてはならない書面(譲受書)に関して、次の①～⑤の各記述が正しければ○印を、誤っていれば×印を、それぞれ解答欄に記入しなさい。

- ① 譲受人の年齢が記載されていないなければならない。
- ② 譲受人の住所が記載されていないなければならない。
- ③ 譲受人の職業が記載されていないなければならない。
- ④ 譲受人の使用目的が記載されていないなければならない。
- ⑤ 譲受人の押印がなくてはならない。

第5問 毒物及び劇物取締法第3条の3の規定に基づき、興奮、幻覚又は麻酔の作用を有する毒物又は劇物(これらを含む物を含む。)として政令で定められた物に対する規制に関して、次の①～④の各記述が正しければ○印を、誤っていれば×印を、それぞれ解答欄に記入しなさい。

- ① みだりに吸入する目的で所持することが禁じられている。
- ② 業務上取り扱うことがない者は、目的によらず、所持することが禁じられている。
- ③ 毒物劇物販売業者は、相手方が、みだりに吸入する目的で所持することを知らながら販売することが禁じられている。
- ④ 酢酸エチルを含むシンナーは、本規制の対象である。

第6問 毒物劇物販売業者が、毒物及び劇物取締法第3条の4の規定に基づき、引火性、発火性又は爆発性のある毒物又は劇物として政令で定められている物を販売するときの対応に関して、次の①～④の各記述が正しければ○印を、誤っていれば×印を、それぞれ解答欄に記入しなさい。

- ① 相手方が常時は取引関係にない者であったので、その者から運転免許証の提示を受け、その氏名及び住所を確認した後に交付した。
- ② 相手方が常時は取引関係にない会社であったので、登記簿謄本の提示を受け、その名称及び主たる事務所の所在地を確認した後に交付した。
- ③ 相手方が常時取引関係にある者であったので、特に身分証明書等の提示を受けずに交付した。
- ④ 交付に関する確認事項を記載するための帳簿を備え、最終の記載をした日から3年間保存するようにしている。

第7問 次の①～④の各記述が正しければ○印を、誤っていれば×印を、それぞれ解答欄に記入しなさい。

- ① 毒物劇物営業者は、その取扱いに係る毒物又は劇物について盗難にあったときには、直ちに、その旨を保健所に届け出なければならない。
- ② 毒物及び劇物の廃棄方法については、政令で定める技術上の基準に従わなければならない。
- ③ 毒物劇物営業者は、毒物又は劇物の容器として、飲食物の容器として通常使用される物を使用してはならない。
- ④ 毒物劇物営業者は、劇物を貯蔵する場所に、「医薬用外」の文字及び「劇物」の文字を表示しなければならない。

共通

受験番号

平成22年度毒物劇物取扱者試験解答用紙

【法規】

第1問

①	②	③
ウ	キ	コ

第2問

①	②	③	④
ア	カ	コ	タ

第3問

ア

第4問

①	②	③	④	⑤
×	○	○	×	○

第5問

①	②	③	④
○	×	○	○

第6問

①	②	③	④
○	×	○	×

第7問

①	②	③	④
×	○	○	○